

Dr. Kenjiroh Takayanagi and
Electronic Television

①

1924（大正13）年、浜松高等工業学校（現・静岡大学工学部）に助教として赴任した高柳健次郎は、将来のテレビジョン（以下、「テレビジョン」の略語「テレビ」と記述）は電子式であると考えて、その実現に力を注ぎ、1926年には、「イ」の字を伝送しブラウン管で受像する実験に成功しました。当時、同様の研究が欧米でも行われていましたが、欧米との情報の交流が非常に少なかった中で、この実験を日本で独自に成し遂げました。また、その後のテレビに関連する数々の先駆的研究により、電子式のテレビ技術を確立しました。

後には、NHKのテレビ放送、日本ピクチャーでのテレビ技術の開発にも参画しました。これらの一連の業績は日本のテレビとその関連産業の興隆に大きく寄与しました。

さらに、テレビを対象としたテレビジョン同好会（のちのテレビジョン学会、映像情報メディア学会）を創設し、初代の会長として後進の研究者の育成にも貢献しました。

テレビに関したこれらの業績に関し、1981年には文化勲章を受章しています。

今年（2011年）は、テレビ放送がアナログ放送からデジタル放送に切り替わる大きな節目となる年ですが、人々のライフスタイルを変えたテレビに関する初期の研究において、高柳健次郎の業績は燦然とした輝きを持つものです。

☆顕彰先 : 静岡大学高柳記念未来技術創造館

☆所在地 : 〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1

☆ホームページ : <http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/>

☆アクセス（最寄駅）: JR浜松駅からバスで15分



②



③



④



⑤



⑥

(写真提供：静岡大学高柳記念未来技術創造館)

① 昭和天皇をお迎えしての賜天覧の様子(右)とその際の映像(左)(昭和5年5月30日)

② 高柳健次郎とアイコノスコープカメラ

③ 最初の「イ」の字を出した雲母板(上)とスケッチ(下)

④ 高柳健次郎研究チーム

⑤ 高柳記念未来技術創造館 藤岡コレクション(歴代のCRTテレビジョン)

⑥ 同館 外観